

木村彰一 きむらあきら ロシア文學・スラブ語學者。大正四年一月五日秋田縣生れ、昭和六十一年一月十八日没（九一五―六六）。東京帝國大學文學部言語學科卒。北海道大學助教、東大教授、早稻田大學教授歴任。我が國初のポーランド語辭典編纂を手掛けた。

著譯書 『ロシア文法』（八杉貞利共著、昭和二十八年六月十五日岩波書店）、『レスコーナ作『魅せられた旅人』』（訳、昭和二十五年十一月二十日岩波書店『岩波文庫』）、『ダヴィド・ルビノーヴィチ著『ダヴィドの日記』』（訳、昭和二十六年一月二十日筑摩書房）、『ロシア・ソビエト文學』（編、昭和二十六年七月五日毎日新聞社『毎日ライブラリー』）、『コイーゴリ遠征物語』（訳、昭和五十八年四月十八日岩波書店『岩波文庫』）等。